

31 小型動力ポンプ購入仕様書

神栖市

第1章. 目的

この仕様書は神栖市が平成31年度に購入する小型動力ポンプについて必要な事項を定めることを目的とする。

第2章. 概要

- 1 小型動力ポンプの技術上の規格を定める省令に合致していること。
- 2 小型動力ポンプはISO9001・14001の認証工場製品であること。

第3章. 提出書類

- 1 小型動力ポンプ納入時に次に掲げる書類を提出すること。
 - (1) 取扱説明書
 - (2) 簡易取扱説明書
 - (3) 消防ポンプ性能試験成績書
 - (4) 検査合格書の写し
 - (5) 材料承認届

第4章. 仕様

<神栖市役所 防災安全課分 小型動力ポンプ>

- | | | |
|---|-------|---|
| 1 | 規 格 | (1) 日本消防検定協会の受託試験合格品であること。
(2) B-2級 とする。 |
| 2 | エンジン | (1) 2気筒水冷2サイクルガソリン（冷却水還流式）とする。
(2) 総排気量617mL以上とする。
(3) 出力30kW以上とする。
(4) C. D. イグニッション点火方式（交互発火式）とする。
(5) 分離給油潤滑方式とする。
(6) セルスターター式，リコイルスターター式始動方式とする。
(7) オートチョーク方式とする。 |
| 3 | ポンプ | (1) 片吸込1段タービンポンプ型式とする。 |
| 4 | 真空ポンプ | (1) ツイン真空ポンプ方式とする。
プライマリ側：軽量アルミ大型オイルレス式4翼偏心
ロータリ真空ポンプ
セカンダリ側：軽量大型オイルレス式4翼偏心ロータリ真空
ポンプ（大型ストレーナ付，排水受けポット
付） |
| 5 | 放水弁 | (1) 開閉方向が直感的でわかりやすく，軽くスピーディーに操作
しやすいオペティバルブを採用すること。 |

- (2) 放水口を約 20 度下方へ傾けることにより、放水時の水の衝撃による”ホースの暴れ”と「抵抗」によるタイムロスを大幅に低減する構造とすること。
- 6 計器類
 - (1) 夜間の視認性を向上させたランプ内蔵型のダンパー付き圧力連成計を使用すること。
- 7 保安装置
 - (1) 空運転や冷却水不足などによるエンジンの焼付を防止し、トラブルの際にはモニターで警告、エンジンが自動停止する構造とすること。
- 8 環境性能
 - (1) 密封式で電解液補充の必要がない、シールドバッテリーを使用すること。
 - (2) ポンプに常時接続したままで保管できる、自動充電器を装備すること。
 - (3) 低騒音及び低排煙に考慮した構造とすること。
- 9 その他
 - (1) 視認しやすい位置に反射材を使用した「神栖市消防団」と文字を表示すること。(表示位置・字体・サイズ等については当市担当者と協議)

10 発注台数 1台

11 納品場所 神栖市役所防災安全課

<神栖市消防団分 小型動力ポンプ>

- 1 規 格
 - (1) 日本消防検定協会の受託試験合格品であること。
 - (2) B-3級 とする。
- 2 エンジン
 - (1) 2気筒水冷2サイクルガソリン式とする。
 - (2) 総排気量617mL以上とする。
 - (3) 出力30kw以上とする。
 - (4) 無接点(CDI)マグネット点火方式またはC.D.イグニッション式(交互発火式) とする。
 - (5) 分離給油方式とする。
 - (6) インジェクション方式又はキャブレター方式とする。
 - (7) セルスターター式、リコイルスターター式始動方式とする。
 - (8) 排水が無くポンプ周辺や足元を濡らさない安全&クリーンな冷却水循環方式とする。
- 3 ポンプ
 - (1) 1段タービンポンプとする。

- | | | | |
|----|--------|---|--|
| 4 | 真空ポンプ | (1) | 無給油式4翼偏心ロータリ真空ポンプ（大型ストレーナ付）とし、ブレードの材質は耐久性に優れた PEEK 材または、カーボン素材とすること。 |
| 5 | 自動吸水機能 | (1) | 自動／手動の切替スイッチが付いた構造とし、エンジンを始動するだけで、スピード吸水ができ、吸水できない時にはエンジンが自動停止すること。 |
| 6 | 放水弁 | (1) | クイックバルブ式（ボールコック）または、オペティバルブ式（ボールコック）とする。 |
| 7 | 計器類 | (1) | 夜間の視認性を向上させたランプ内蔵型圧力連成計を使用すること。 |
| 8 | 保安装置 | (1) | 空運転や冷却水不足によるエンジンの異常加熱を未然に防ぐ構造とすること。 |
| 9 | 環境性能 | (1) | 密封式で電解液補充の必要がない、バッテリーを使用すること。 |
| | | (2) | ポンプに常時接続したままで保管できる、自動充電器を装備すること。 |
| | | (3) | 低騒音及び低排煙に考慮した構造とすること。 |
| 10 | 取り付け | (1) | 積載車部分の台座を現行から新品に交換し、ポンプを取り付けられるよう調整する。 |
| 11 | その他 | (1) | 視認しやすい位置に反射材を使用した「神栖市消防団」及び「第〇〇分団」と文字を表示すること。（表示位置・字体・サイズ等については当市担当者と協議） |
| | | (2) | 分団の所有する既存のポンプは当市担当者と十分な協議の上、受注者が処分するものとする。 |
| 12 | 発注台数 | 5 | 台 |
| 13 | 納品場所 | 神栖市消防団消防機庫
各分団の機庫にて台座の交換及び可搬ポンプの納品を行う。
・第13分団消防機庫（深芝）
・第14分団消防機庫（居切）
・第17分団消防機庫（溝口）
・第18分団消防機庫（柳堀）
・第19分団消防機庫（知手） | |

第5章. 納入期日

契約締結の翌日から平成31年8月30日（金）まで

第6章. アフターケア及びメンテナンス

納入後に、毎年、無償のポンプ点検を行いつつ、分団員らへの操作及びケアの周知を徹底すること。

なお、開催日時、開催場所は、当市担当者と十分な協議の上決定すること。

メンテナンスについては、長期間にわたり適切かつ迅速に対応できる体制が整備されていること。

第7章. 附則

- （1）受注者は、本仕様書の記載事項に疑義が生じた場合には、当市担当者に連絡の協議の上承認または指示を受けるものとする。
- （2）それぞれの小型動力ポンプ納品時には、オイル及び燃料タンクに、燃料油脂類を満量に充填した状態で納品すること。